



佐喜真沖縄監督署安全衛生課長からは、県内および沖縄監督署管内における令和 4 年度の災害発生状況、沖縄労働局第 14 次労働災害防止計画の重点事項、安全週間に係る実施者が継続的に実施する事項として事業場で使用している各種機械の法令事項の確認、リスクアセスメントの実施による作業手順書の確認・改善、資料に基づき法改正の状況等の説明が行われました。



特別講演では、中央労働災害防止協会九州安全衛生サービスセンター所長の野口正明氏より「めざそう 転倒災害ゼロ!」と題して、転倒リスク低減のポイントの講話が行われました。

次に本大会の安全の誓いが鉄鋼処理産業(株)の知念俊彦氏により読み上げられ、参加者全員の総意により採択されました。指差唱和では、建災防沖縄県支部の安全指導者の仲宗根正勝氏が代表となり、参加者全員でゼロ災を誓いました。



北部地区

6 月 9 日(金)、北部会館 3 階研修室にて令和 5 年度北部地区安全管理推進大会を開催し、43 事業所 91 名が参加しました。参加者全員で黙とうを捧げたあと、沖縄産業保健総合支援センターの玉那覇副所長のあいさつで開会し、続いて、建災防沖縄北部分会の仲程分会長より主催者代表挨拶がありました。

上原名護労働基準監督署長からは「時間外労働上限規制の適用となる業種に対しては、個別支援や説明会を実施しているので、気軽に相談していただきたい。北部地区では令和 3 年から 2 年連続で死亡災害は発生させておらず、休業 4 日以上労働災害も令和 3 年に比べ令和 4 年は新型コロナウイルス感染症を除けば 8 人の減少となっているが、平成 29 年以降増加傾向にある労働災害が改善し減少に転じたとは言い難い状況にある。労働災害を減少させるため第 14 次労働災害防止 5 年計画を今年度から新たにスタートさせており、この計画に基づく施策について労使一丸となって取り組んでほしい。」旨来賓挨拶がありました。



中野名護監督署労働基準監督官からは、安全週間趣旨、北部地区の労働災害の発生状況沖縄労働局第 14 次労働災害防止計画等についての説明がありました。



特別講演では、名桜大学人間健康学部看護学科の松下聖子教授より「防災教育：守ろういのちと生活」と題し、実体験を踏まえて、被災者のコミュニティの回復のプロセスとこころの変化など、分かりやすくご説明いただきました。



(株)屋部土建の山田百合奈氏より大会宣言が読み上げられ、職場環境を踏まえた安全管理で労働災害のない職場づくりに邁進することを宣言し採択されました。指差し唱和では、労働基準協会北部支部安全衛生部会の島袋部会長の声出で、参加者全員が安全週間スローガン読み上げました。



最後に、安富労働基準協会北部支部長より「今日のこの大会を契機に、みんなで健康で事故のない職場づくりに取り組み、安全週間のもとより、これから一年間、ゼロ災害を是非達成しましょう。」と閉会挨拶がありました。

宮古地区

6 月 13 日(火)、宮古島市中央公民館(未来創造センター)にて、令和 5 年度宮古地区安全大会を開催し、33 事業場、80 名の参加がありました。

参加者全員で黙とう後、砂川港災防沖縄総支部宮古支部長の挨拶により開会し、上里労働基準協会宮古支部長の挨拶では、人手不足が深刻になっており産業、労働災害事故の増加に繋がらないよう安全管理体制の充実を図り、労働災害防止の取り組みをお願いしたいと呼びかけました。

井上茂樹宮古労働基準監督署長からは、「沖縄県内の令和 4 年の労働災害は、死亡者数は前年と比べて大きく減少したが、休業 4 日以上死傷者数は昭和 47 年以降で最多となっており、宮古地区も同様の傾向にあり、憂慮すべき事態となっている。沖縄労働局第 14 次労働災害防

